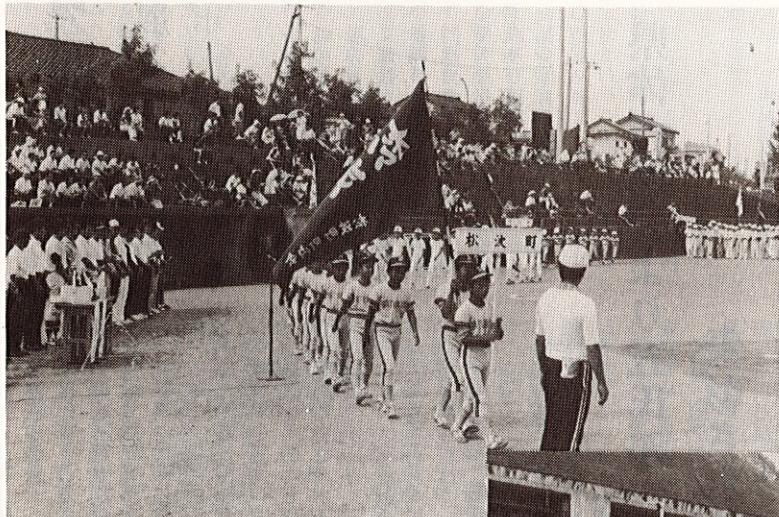


柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集人 石橋敏正

印刷所 柏崎印刷株式会社



夏の少年の動
活

○小学生野球大会
入場行進



○健民少年団県大会
奥三面で開かれた
鯨波健民少年団参加

5 19	5 15	5 9	5 8	5 3	5 2	4 29	4 28	4 24	4 6
会 市内バ スケット選 手権	ニッタク杯卓 球大会	第一回レク指 導者講習会 (於S・H)	柏崎地区軟式 庭球大会 (於柿崎)	信越高校軟式 庭球大会	県美業団卓球 大会(於小千谷)	市民おはようサイ クリング始まる	柏高二位	常陸宮賜杯準硬 式野球県選会 (於市民球場)	市民米山登山大 会(於上越市)
出發	健老行脚隊春 日山まで	優勝	常盤優勝	柏崎陸上競技選 手権大会	柏崎陸上競技場	柏崎陸上競技場	松波体育館竣工式	近県バスケット選 手権	柏崎クラブ準優勝
東部地区体育協会運動 会	ニッタク杯卓球大会	第一回レク指導者講習会 (於S・H)	県美業団卓球大会(於 小千谷)	市役所チーム	信越高校軟式庭球大会	市民おはようサイクリング始まる	柏高二位	市民米山登山大会(於上越市)	近県バスケット選手権

あ
し
あ
と

体育委員會於市民公會館

東村山市体協と姉妹提携記念

柏崎体育祭

事務局長 石橋 敏正

伝統ある柏崎体育祭は、昭和四九年で一時休止したのであるが、今年三年振りに復活することにした。以後オリンピック方式をとり、四年ごとに開催することを決定した。これは、昨年柏崎体育団が、東村山市体育協会と姉妹提携の式典を、東村山市の市民大運動会の席上で行った。その際、柏崎勢が運動会に参加し、東村山市民と一緒に走ったり、踊ったりして親善を深めてきた。今年は逆に、東村山市体育協会役員を招へいし、柏崎の体育祭に参加を願い、大いに交流を深めたいと、特に「東村山市体育協会と柏崎体育団姉妹提携記念」と銘を打つて開催することにした。

柏崎の体育祭といえば、マスゲームが頭に浮ぶ。昭和五年全国で初めて開催されている。今中（旧制）学校、幼稚園、民間団体等、児童生徒の大動員に、体操クラブが加わり、七〇〇〇人の入場行進、ラジオ体操、小学生的旗体操、中学生の体操、

体操クラブの民踊による入退場とデンマーク体操等、集団のかもし出す雰囲気は、何ともいえない迫力と美が、スタンドを埋めつくした一万余の大観衆の心にやきつけたことであろう。以後大指導者の努力で、戦中（一時中断した）、戦後、幾多の困難を乗り越え継続されてきたのである。最近では、昭和二八年陸上競技場三〇周年記念、三九年国体記念の体育祭、四〇年第一回県民スポーツ中央大会、四二年第五回体力づくり推進全国大会に見る体育祭は、特に印象深いものがあった。さすが体育都市柏崎の伝統を誇る体育祭である。健康な肉体がうたう無声のコーラスである。しかしマスゲームの中心をなす児童生徒の動員が年々むずかしくなり、残念ながらここ数年休止したのである。

一方、体育祭の起源ともいえ珍らしいものではない。当時小中（旧制）学校、幼稚園、民間団体等、児童生徒の大動員に、体操クラブが加わり、七〇〇〇人の入場行進、ラジオ体操、小学生的旗体操、中学生の体操、

く立上がりようと、復活第一回の市民大運動会が開催された。當時物資のない時代で賞品にカボチャが出るなど懐かしい思い出がある。開催前になると、夕暮れ各町内から選手が続々とつめかけ、グランド一杯になつて練習に励んだ姿が目に浮ぶ。以後年々盛んをきわめ、如何にして出場制限するかに主催者は頭を悩ませたという。しかし町村合併が進むにつれ、地域も広くなったり、農村・漁村・市街地と異つた環境で一同に会して開催することは日時の選定に困難をきたした。また遠隔地の輸送の問題更に経費の問題等もあり、一八回も統いた中央大会も、三二年をもって中止のやむなきに至つたのである。以後運動会は各地区組織にゆだねることにしたのである。

次に編成であるが、(1)地区体育協会がある地域は地区体協単位でチームを編成する。(2)地区協のない地域は、単独町内か近接町内でまとまって編成する。なお、団体種目の一・二・三位にはカップを授与し、各種目の参加者に全部参加賞を授与することとした。

以上が構想の概略である。全市となると、広い地域にわたり開会、閉会の時間に制限を受け参加者の満足する時間や種目の出来ないことが残念である。今年は四年に一度の最初の年であり、東村山市体協と姉妹提携記念の体育祭である。五〇数年の歴史を持つ体育団として、先輩指導者が築いた伝統に恥じない体育祭にしたい。

県中学選抜総体（於長岡）

水戸）松井（一中）萩野（二中）優勝

学童泳力テスト（於市営プール）

全日本中学陸上（於国立競技場）村山（三中）三千に優勝

町内対抗野球大会（於東京体育館）

少年野球大会（24チーム参加）

太田杯硬式庭球大会（太田芳郎氏来柏）

小学生野球大会（柏崎水球クラブ全日本選手権で二回戦で惜敗）

37チーム参加

北信越国体バスケットボール大会（於福井）

柏崎水球クラブ敗れる。



柏崎市中学生体操は、
37チーム参加

北信越国体バスケット
ボール大会（於福井）

柏崎水球クラブ敗れる。

8 · 27	8 · 25	8 · 22	8 · 17	8 · 15	8 · 12	8 · 6
北信越国体バスケット ボール大会（於福井）	柏崎水球クラブ全日本 選手権で二回戦で惜敗	少年野球大会（24チ ーム参加）	太田杯硬式庭球大会 （太田芳郎氏来柏）	町内対抗野球大会（於 東京体育館）	学童泳力テスト（於市 営プール）	県中学選抜総体（於長 岡）

昔から体育の町柏崎といわれてきました。体育の町の中身はどんなものなのだろうか。水泳の方から書いてみました。

十年前まで私たちは「プール」、「プール」と云つてプールをほしがりました。海があるからプールはいらんという人もあります。たが、今日では鯨波荒浜、高浜の海浜学校から、鶴川、別俣、南鰐石、北条の山村学校まで、全小学校にプールが造られました。中通小にもできることがあります。プールは教室である、水泳を学習する教室であるという私等の考え方を行政の方々や地域の方々が支持して下さいましてとても嬉しいです。このほかプールは中学校に七、長水路ブリル、室内プールがあります。プールは水泳を覚える所、海は水泳である所だと思います。

さて、プールがあれば、そこで泳ぐ人（水泳を学習する人）と、泳がせる人（水泳を教える人）があるのが当たり前のことです。体育の町・柏崎の中身は泳ぐ人と、泳がせる人の質はどう

うか、量はどうか、ということになると思います。私は、泳ぐ人に希望します。小学生のうちに正しい泳ぎを覚えてください。そして泳ぐことが好きになって、体が動けるうちは毎日プールへ通つてもらいたいと思います。夏は陽の当る屋外プールで、冬は温かい室内プールで泳いで体力づくりをして下さい。クロールで、平泳で背泳で、バタフライで、横泳で立泳で、潜水で、泳いで下さい。毎日「らくらく」と、「のびのび」と、泳いでもらいたいと思います。柏崎には「泳げる人が何人いるか」「水に入った人はどんな泳ぎで泳いでいるか」「私は何日泳いだらうか」——こんなことが「体育の町柏崎」の中身になると思います。

私は水泳を教える人（小学校で、中学校で、高等学校で）に希望します。正しい泳ぎ、合理的な泳ぎを教えてやつて下さい。「体育水泳」と「競技水泳」はちがいます。学校の水泳の主要部分は、

「体育水泳」で、少部分は「競技水泳」だと思います。私は特訓とか「じごく」とかいう、ことばはきらいです。よい泳ぎが、正しい泳ぎが身につければ、必ずよい記録が生まれます。必ず長い距離を泳げるようになります。しごきにじごいて、好記録、優勝を追うのではなく、正しい泳法を追求する中に、好記録、優勝がついてくるのだ

私は行政に希望します。プール使用料は大変やすくて、感謝しています。しかし年間を通して毎日練習することになるプールは、高校生が年間練習にと数万円になります。小学生が中学生が、高校生が年間練習に通つてきて、自分の小遣いでまかなわれる程度の使用料を考えいただきたいと思います。それから泳げない子を浮かせる講習会は毎年やつていただきました。今度は少し泳げる子を正しい泳ぎで、長く泳げるようになります。私たち水泳人は研修し合つて、つたない技術を磨き合つて、よりよい指導法をみいだすよう努力していきたいと思います。

以上、思いつくままに書いてみました。

柏崎には「よい指導者がたくさんいる」、これが「体育の町柏崎」のなかみになると想います。私は「競技水泳」をやる人に希望します。

柏崎の水泳について

水連事務局 横 関 喜 一

柏崎市は室内プールを作つて下さいました。不斷の練習ができるはずです。練習しましよう。生、中学生、高校生とだんだん弱くなっているのが現状です。

そして強くなりましょう。小学

生、中学生、高校生とだんだん弱くなっているのが現状です。水泳馬鹿になれとは申しませんが、きびしい練習に打ちこみ耐えて競技会にのぞみ、優勝を競う。我が青春のよき一コマだと思います。私が青春のよき一コマだと思いませんか。「柏崎の競技水泳人は厳しい練習をやつている」これも「体育の町柏崎」の中身だと思います。

私は行政に希望します。プール使用料は大変やすくて、感謝しています。しかし年間を通して毎日練習することになるプールは、高校生が年間練習にと数万円になります。小学生が中学生が、高校生が年間練習に通つてきて、自分の小遣いでまかなわれる程度の使用料を考えいただきたいと思います。それから泳げない子を浮かせる講習会は毎年やつていただきました。今度は少し泳げる子を正しい泳ぎで、長く泳げるようになります。私たち水泳人は研修し合つて、つたない技術を磨き合つて、よりよい指導法をみいだすよう努力していきたいと思います。

以上、思いつくままに書いてみました。

柏崎には「よい指導者がたくさんいる」、これが「体育の町柏崎」のなかみになると想います。私は「競技水泳」をやる人に希望します。

本年度第一回目の理事会が開かれ、次のような報告や協議が行われた。

○報告事項／県体育協会常務理事に石橋事務局長、評議員に岡島利夫氏が当団代表として選出され、決定した。

○協議事項／

○競技力向上教室開設団体・卓球連盟・バケット協会・陸上競技連盟・水泳連盟の四団体の開設が審議されて承認された。

○選手強化費交付団体の指定・バスケットボール柏崎クラブ男子チーム・中・高校生対象の陸上（全日本ジュニア選手権の強化）・高校駅伝チームの三団体を指定強化の対象とした。

○東村山体協の受入れについて10月16日の柏崎体育祭の時、来柏する東村山体育協会総勢二十名の宿泊や、体育祭当日のセレモニーについての大筋を決めた。

○賛助会員の募集について49年まで実施して来た、企業や事業所を対象にした団体と個人とに分けて理事が手分けをして募金に歩くことが決め

理事会報告
選手強化・競技力向上教室
決まる

加盟団体紹介

我が協会の活動

柏崎バスケットボール協会

理事長 小林 遼

当協会の事始めは、毎年一月十五日である。この日は柏崎のバスケットボールの祭典ともいえる日で、高校男女、中学男女のエキジビジョンマッチを行ない、メインイベントは、「若草枯草定期戦」である。この定期戦は、戦後間もなく始めたもので、昔、バスケットをやつた人達がバスケットを楽しみ、遊ぶゲームである。したがって珍プレーの続出である。若草チームのキヤブテン格が曾田柳子さん、関若菜さん、枯草チームが井比孝さん等である。この試合を見れば、柏崎バスケットボールの歴史を知ることができるのではないかと思う。又この試合に参加する人達が当協会をバッカアップし、ささえてくれる大きな力でもある。

回を二十六回と重ねた市内選

れ、汗を流したい」という人々の希望にそつて始めたもので、回を追うごとに盛大になってきてる。特に昨年完成した柏小の体育館が毎週木曜日の夜に解放いただけるようになつたので、この日を市内選手権に当てたところ、ウイークデーの夜ということで、人も集まりやすく、定着してきている。

この他の行事では、主催は体育団ではあるが、今年で二十五回を迎える北陸大会がある。近年は、参加チームが一〇〇を越えるようになり、その運営にあつては体育団事務局の方々と共に協会総動員で三日間にわたる大きくなつた大会を消化している。

一般チームでは柏崎クラブが県下でも有数なチームに育つてき、高校も県下でベスト8、又はベスト4と、常に市内のどこのチームが、上位にいく込んでいる。しかしながら中学の場合は、上越地区のレベルがかなり高く、県大会へ出場できないの

が近年である。一昨年から中学を強化することが、高校を強くし、ひいては一般チーム、協会の発展へもつながるというこ

とで、高体連の先生方を中心には、柏崎クラブの関係者らの協力もあつて技術指導講習会（競技向上教室）を開催し、三年目に

してその効果も現われはじめ、上越大会でも、東中学生はあと一歩というところまでに成長し、他の中学も善戦できるようになつてきた。中学の場合、試合数が少ないでの、試合経験を一回でも多く与えるという観点から市内中学校選手権を始めて三年目を迎えている。

柏崎クラブの強化を目的として高校の技術向上を含め、中央から一流の指導者を呼び、指導をいただいている。

審判のレベル向上を目指し、試みている。

ている。審判員もふえ、現在では、日本協会公認審判員が2人県協会公認で、県大会の決勝を十三人となつており、他地区に比べてはるかに充実している。

今後の活動方針として、すでに本年度事業計画にある市内高校の選手権大会を催し、中学と同様に試合経験を豊富にし、レベルアップをはかつていただきたい新潟市をはじめ他地域においては小学生を対象としたミニバスケットが盛んに行なわれ、全国的な交流も行なわれている。

柏崎においてもこれに積極的に取り組まなければならぬ時期に来ている。これを置きざりにすることは将来に大きな禍根を残すことになる。

これにそなえ当協会では、日本体育協会の指導者の資格をもつものが8人になつたが、やはり、小学校、教育委員会のタイアップなしにはできる仕事ではない。今後関係機関協力を得ながら、ぜひとも取り組んでいきたいと思っている。

○柏崎体育祭に於ける加盟団体リレーについて

レクリエーション種目として実施することとし、各種目の競技時のユニホームで、その種目を特徴づける用具を持つて走る。アンカーは各協会の会長又はそれに代る役職の人とするところになった。

○その他の事項としては、各協会と学校団体（小・中体連）との関係を考える余地はないかなど各項目ごとに慎重に意見交換がなされ終了した。

られ、県体協の賛助会員費との関連も考慮することになつた。

○山岳会OB共著「青の光」

出版記念祝賀会の共催要請について

貴重な出版があるので体育団として出来る範囲の手伝いをすることになり、共催に賛同することになった。

東中バレーボール奮戦記

東中監督 本間 正道

○柏崎刈羽中学校バレーボール

大会 《優勝》

7月25日・26日（於一中）

○上越地区中学校バレーボール

大会 《優勝》

8月5日・6日（於長岡西中）

決勝 東中2(1615-1413)0巻中

決勝 東中2(1515-1516)0柏崎

決勝 東中2(1515-1516)0城北中

決勝 東中2(1515-1516)0板倉中

○第八回新潟県中学校総合体育

大会・第二十一回県中学校バ

レーボール大会 《優勝》

5月29日（於巻高校）

決勝 東中2(1715-1511)0吉田中

決勝 東中2(1515-1313)0巻中

6月28日・29日（於柏崎一中）

○第二十七回柏崎刈羽中学校バ

レーボール大会 《優勝》

7月10日（於城西中）

○第七回全日本バレーボール中

学生選手権大会・新潟県予選

会 上越地区代表決定会第一位

決勝 東中2(1515-1516)0柏崎

決勝 東中2(1515-1516)0城北中

7月17日（於兩津東中）

○第七回全日本バレーボール中

学生選手権大会新潟県予選会

決勝 東中2(1515-1516)0岩室中

52年2月11日（於竹園高校）

○西川町近郷少年少女バレーボ

ール大会 《優勝》

決勝 東中2(1515-1516)0岩室中

52年5月15日（於柏崎一中）

☆戦績

52年5月15日（於柏崎一中）

決勝 東中2(1515-1516)0巻中

52年5月15日（於柏崎一中）

○西川町近郷少年少女バレーボ

ール大会 《優勝》

決勝 東中2(1515-1516)0岩室中

は底抜けに明るく、足取りも軽かつた。胸を張って帰れるそんな喜びが全身を包んでいるようだつた。

六月の郡市大会前およそ一ヶ月間、早朝三キロメートルのランニングを実施した。誰一人休む生徒はない。六月二十一日（火曜日）の私の日誌にこう記した。

「朝もやの学びの庭を一すじに目標めざしひた走る子等」

選手達は進んで練習をした。

私はこんな生徒達のために努力しなければと思った。やる気が一番大切だとも思つた。

新人戦以来十三の大会に参加し五十二試合一セツトも落さず勝ち得たことを矢嶋先生、生徒と共に喜びたい。

長岡総体の決勝戦に大塚校長先生、堀井教頭先生はじめ職員多数、そして前校長吉田好道先生、山田吾作先生、村山謙之校長先生、PTAの役員、父兄各位の暖かいご支援を肝に銘じ、新潟県代表としてはずかしくない試合をしてきたと念願しております。

本当に有難うございました。

この度の成果は、このように多方面からのご指導ご鞭撻の賜ものと深く感謝申し上げます。

あと残すは全国大会のみですが、

一昨年全国大会に出場された村越先生（五中）のご指導を参考に選手全員一丸となり、市当局はじめ、PTA、後援会、地区民各位の暖かいご支援を肝に銘じ、新潟県代表としてはずかしくない試合をしてきたと念願しております。

技術・精神両面からこのチームを遠路度々見えられて自分のチームのようにご指導下された高田北城高校の笠井先生、チームの福の神としてご指導ご援助をいただいた箕輪前協会長、現協会長藍沢先生の激励も身に沁みました。このチームの成長発展を心から願い励まして下さった吉田前校長先生、遠く仙台の地から再三にわたりスポーツ理論、競技精神の何たるかを教えて下された阿部芳郎先生、大会の度ごとにご指導ご鞭撻をいただいた植木先生、西沢先生、高校の先生方、協会の方々、基礎指導では柏工の関矢登先生、柏崎クラブの高橋さん、いつも激励をいただいた地区民の方々、常盤高校バレーボールチーム（関矢監督）の胸を借りて練習もできました。

本当に有難うございました。

この度の成果は、このように多方面からのご指導ご鞭撻の賜ものと深く感謝申し上げます。

あと残すは全国大会のみですが、

一昨年全国大会に出場された村越先生（五中）のご指導を参考に選手全員一丸となり、市当局はじめ、PTA、後援会、地区民各位の暖かいご支援を肝に銘じ、新潟県代表としてはずかしくない試合をしてきたと念願しております。



みました。このチームの成長発展を心から願い励まして下さつた吉田前校長先生、遠く仙台の地から再三にわたりスポーツ理論、競技精神の何たるかを教えて下された阿部芳郎先生、大会の度ごとにご指導ご鞭撻をいただいた植木先生、西沢先生、高校の先生方、協会の方々、基礎指導では柏工の関矢登先生、柏崎クラブの高橋さん、いつも激励をいただいた地区民の方々、常盤高校バレーボールチーム（関矢監督）の胸を借りて練習もできました。

本当に有難うございました。

この度の成果は、このように多方面からのご指導ご鞭撻の賜ものと深く感謝申し上げます。

あと残すは全国大会のみですが、

一昨年全国大会に出場された村越先生（五中）のご指導を参考に選手全員一丸となり、市当局はじめ、PTA、後援会、地区民各位の暖かいご支援を肝に銘じ、新潟県代表としてはずかしくない試合をしてきたと念願しております。

昭和52年度 柏崎体育団予算書

52. 4. 1 ~ 53. 3. 31

(収入の部)

(単位 円)

項目	予算	前年度予算	比較増減△	摘要
繰 越 金	287,944	263,367	24,577	昭和51年度からの 繰越金
加盟団体負担金	77,000	76,000	1,000	26団体×2,000円 25団体×1,000円
贊 助 会 費	150,000	200,000	△50,000	賛助会員加入費
補 助 金	350,000	350,000	0	柏崎市から
委 託 料	200,000	200,000	0	柏崎市から
事 業 収 入	500,000	500,000	0	スポーツハウス内売店利益 総合プール内売店利益
寄付金・その他	10,000	15,000	△5,000	預金利息・その他
計	1,574,944	1,604,367	△29,423	

(支出の部)

項目	予算	前年度予算	比較増減△	摘要
●事務局費	448,000	498,000	△50,000	
1負担金	8,000	8,000	0	県体協加盟負担金
2会議費	95,000	75,000	20,000	委員会、理事会
3交際費	120,000	30,000	90,000	団交際費
4給料	100,000	150,000	△50,000	資料作成手当
5旅費	20,000	80,000	△60,000	県体協会議
6消耗品費	25,000	15,000	10,000	事務用品
7印刷費	40,000	35,000	5,000	規約等印刷
8通信費	25,000	50,000	△25,000	会議案内書類発送
9借損料	10,000	10,000	0	会議会場借上料
10備品費	5,000	45,000	△40,000	
●事業費	1,120,000	1,095,000	25,000	
1大会費	120,000	120,000	0	大会運営費
2研修費	100,000	70,000	30,000	指導者養成、研修・講習会
3表彰費	150,000	130,000	20,000	優秀体育人表彰
4普及助成費	70,000	75,000	△5,000	スポーツ少年団育成
5選手強化費	300,000	300,000	0	競技力向上教室、選手強化
6体育史刊行費	100,000	100,000	0	体育史刊行準備費
7機関紙刊行費	200,000	180,000	20,000	「柏崎体育」発行4回
8全国大会参加助成費	50,000	70,000	△20,000	国体、全国大会参加助成
9スポーツ懇談会費	30,000	50,000	△20,000	新春スポーツ懇談会運営費
●予備費	6,944	11,367	△4,423	
1予備費	6,944	11,367	△4,423	予備費
計	1,574,944	1,604,367	△29,423	